Vestax

Professional Mixing Controller

PCV-180

取扱説明書

〒154-0023
東京都世田谷区若林 1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013

ごあいさつ

この度は、VESTAX PCV-180 プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久性の超えた使い方（スクラッチプレイでご使用になった場合等）をされると、通常のパーツの耐久期間（1年以上）が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告　この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分　解　禁　止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源指を挟まれないよう注意抜け

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一､煙が出ている､変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると､火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り､その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一､内部に水や異物などが入った場合は､まず機器本体の電源スイッチを切り､その後電源プラグをコンセントから抜いて､販売店にご連絡ください｡そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一､この機器を落としたり､キャビネットを破損した場合は､機器本体の電源スイッチを切り､その後電源プラグをコンセントから抜いて､販売店にご連絡ください｡そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

- オーディオ機器､スピーカー等の機器を接続する場合は､各々の機器の取扱説明書をよく読み､電源を切り､説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し､やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因たなることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり､倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

●音声信号の伝送ロスを減らし、音源に忠実な信号と効率の良い伝送回路設計により音質を向上しました。
●各PGMチャンネルにPRE/OFF/POSTと切り替えられるEFFECT SENDの取り位置切り換えスイッチを搭載。さらにチャンネル毎にSENDボリュームを搭載し、各チャンネル毎にSENDレベルを調節することができます。
●ヘッドフォンの差込は上面及び手前にあり、状況に合わせて差込口を選択できます。
●モニターは、SPLIT CUE 又は STEREO CUE から選択することができます。
●箱型の形状から脱却し、新感覚のモールド筐体デザインを採用しています。
●各プログラムチャンネル（PGM1,PGM2）にPHONO1系統、LINE2系統の入力を装備。それぞれのプログラムには、トリムコントロール、バランスコントロール、3バンドアイソレーターを装備し、細かいセッティングが可能です。
●インプットフェーダーボリュームには６０mmのフェーダーボリュームを使用しており、テクノ、トランス、ハウスといったロングミックスを要求されるジャンルに最適です。
●MICチャンネルにはMAIN、SUBの２系統の入力を装備。HI・LOWの２バンドイコライザーにより、LOW PASS及びHI PASS等の音質補正が行えます。
●長年の経験とデータにより作られたクロスフェーダー、インプットフェーダーは、過酷なスクラッチにも耐える耐久度とカーブを持っています。
●インプットフェーダー及びクロスフェーダーは、取外し可能になっており、破損、消耗の際は別売りの交換用フェーダーユニット（インプットフェーダー：ＩＦ-180／クロスフェーダー：CF-PCV）に交換することができます。

主な仕様

		定格入力レベル	最大入力レベル	インピーダンス
入力部	MIC MAIN/SUB（1/4' PHONE JACK）	-50.0dBv	-32.0dBv	3.3kΩ
	PHONO 1～3L/R（RCA PIN JACK）	-46.0dBv	-22.4dBv	47kΩ
	LINE 1～5L/R（RCA PIN JACK）	-10.0dBv	+11.6dBv	47kΩ
アイソレーター	HI	10kHz -∞～+4dB		
	MID	1kHz -∞～+4dB		
	LOW	80Hz -∞～+4dB		
		定格出力	最大出力	インピーダンス
出力部	MASTER OUT L/R（1/4' PHONE JACK UNBALANCED）	0dBv	+11.4dBv	10kΩ OVER
	SUB MASTER OUT L/R（1/4' PHONE JACK UNBALANCED）	0dBv	+11.4dBv	10kΩ OVER
	MASTER2 L/R（RCA PIN JACK UNBALANCED）	0dBv	+11.4dBv	10kΩ OVER
	SEND OUT L/R（RCA PIN JACK UNBALANCED）	-10dBv	+11.4dBv	10kΩ OVER
	HEAD PHONE（1/4' PHONE JACK）	（47Ω LORD 130mW）		8～600Ω

周波数特性	MIC	30Hz～20kHz ±3dB	クロスフェーダー・クロストーク	＞65dB
	LINE	20Hz～20kHz ±1dB	チャンネル・クロストーク	＞75dB
S/N比	MIC	＞60dB	電源方式	AC-12V ADAPTOR
	LINE	＞75dB	サイズ（W×H×D）	330(W)×90(H)×406(D)
			重量	3.5kg

各部の名称と機能

マイクセクション
(9ページへ)
プログラムセクション
(6ページへ)
マスター・モニターセクション
(9ページへ)
MIC IN
MAIN MIC
SUB MIC
MAIN MIC
LEVEL
MIN
MAX
EQ
HI
-12dB
+12dB
LOW
AUX
OFF
POST
CUE
OFF
ON
PGM 1
SUB
PGM 2
LINE 1
LINE 3
LINE 4
PHONO 1
LINE 2
PHONO 2
SUB MIC
PHONO 3
LINE 5
TRIM
SIGNAL / PEAK
BAL
ISOLATOR
MID
SEND
PRE
MASTER
MASTER LEVEL
SUB MASTER LEVEL
RCV
MONITOR
SPLIT
STEREO
MONITOR LEVEL
MASTER LEVEL
L +7 +4 +2 0 -2 -4 -7 -10 -20 (dB)
POWER
(dB) -20 -10 -7 -4 -2 0 +2 +4 +7 R
Vestax
PCV-180
PROFESSIONAL MIXING CONTROLLER
PHONES
㉘
マスターセクション
(9ページへ)
㉙
マスターセクション
(9ページへ)
㉗
マスターセクション
(9ページへ)
⑫
プログラムセクション
(6ページへ)
⑬
プログラムセクション
(6ページへ)
1
2
㉗ マスターセクション

プログラムセクション

① **INPUT SELECT スイッチ**
各プログラムの入力をPHONO1系統、LINE2系統（SUBチャンネルは、LINE・PHONO・SUB MICのいずれか）から選択します。

② **PGM TRIM**
各プログラムの入力レベルを調節します。SIGNAL／PEAKインジケーターが赤色に点灯し続けない程度に調整します。

③ **SIGNAL／PEAKインジケーター**
入力レベルに応じてランプの色が緑→黄→赤と変化します。入力されたレベルが大きい場合（過大入力）、赤色に点灯します。通常、赤色に点灯し続けない程度に、TRIMボリュームを調整して下さい。

④ **PGM BALANCE**
各プログラムのL-Rバランスを調節します。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じる、L-Rバランスの不良を補正することもできます。

⑤ **PGM ISOLATOR [HI]**
高音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと高音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。 １２時の位置がフラットの状態です。シンバル、ハイハット系の音を強調して、リズムにアクセントをつけたりするとき等に使用します。

⑥ **PGM ISOLATOR [MID]**
中音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと中音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。 １２時の位置がフラットの状態です。ボーカルソースやメロディーソースをカットして、リズムソースを強調するとき等に使用します。

⑦ **PGM ISOLATOR [LOW]**
低音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと低音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。 １２時の位置がフラットの状態です。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットして、アカペラ効果を出すとき等に使用します。

⑧ **ISOLATOR ON/OFFスイッチ**
各プログラムのISOLATORのON/OFFスイッチです。このスイッチをOFFにしたとき、ISOLATORのツマミの位置に関わらずフラットな状態となります。

⑨ **AUX ASSIGNスイッチ**
各プログラムの音声信号を外部エフェクターへ送るかどうかを設定します。それぞれ、次のような機能があります。

PRE：インプットフェーダー⑫・クロスフェーダー⑬の位置にかかわらず音声信号がAUX SEND JACK㊱へ送られます。（インプットフェーダーが0の位置になっていても送られます。）
※但し、PGM TRIM・PGM BALANCE・PGM ISOLATORを、経由した音声となります。
OFF：音声信号はAUX SEND JACK㉟へ送られません。
POST：インプットフェーダー⑫・クロスフェーダー⑬・PGM TRIM②・PGM BALANCE③・PGM ISOLATORを経由した音声信号がAUX SEND JACK㊱へ送られます。
（インプットフェーダーが0位置になっているときは、送られません。）

⑩ **AUX SEND LEVEL**
AUX SEND JACKへ出力される信号レベルを調節します。出力される信号は、AUX ASSIGNスイッチ⑨で選択します。

⑪ **CUE ON/OFFスイッチ**
各PGMにおけるプリフェーダーからの信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうかを選択するスイッチです。ヘッドフォンで任意のPGMの入力をモニターする際に、このスイッチをONにして下さい。

⑫ **INPUT FADER**
各プログラムの入力レベルを設定します。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、別売の新しいインプットフェーダーユニット、"IF-180"(標準装備)または"IF-37PCV (ヴァージョンアップ用) "に交換して下さい。なお、交換は7ページ"フェーダーの交換"をご参照ください。

⑬ **CROSS FADER**
左側に移動するに従いPGM1で選択した音が、右側に移動するに従いPGM2で選択された音が、それぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。
クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、別売の交換用クロスフェーダーユニット、"CF-PCV"(標準装備)または"CF-R"に交換して下さい。なお、交換は8ページ"フェーダーの交換"をご参照ください。

注　意

ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

図a

インプットフェーダーの交換

■フェーダーユニット：IF-180への交換

① 図aのようにインプットフェーダーのツマミを取外して下さい。

注　意

この際、裏側の各ボリュームに負担をかけ、破損させる恐れがありますので、ボリュームに強く力が加わらない様、下にクッション材を敷く等の対応を行なって下さい。

② 図bのように、本機裏側のカバーを取外します。

③ 図cのように交換したいインプットフェーダーユニットを固定している4点のネジを取外し、フェーダーユニットごと持上げて下さい。

④ 図dのように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクターを引張って取外して下さい。
（この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい。）

⑤ 新しいフェーダーユニットと交換し、取外しの時と逆の手順で取付けて下さい。

図b

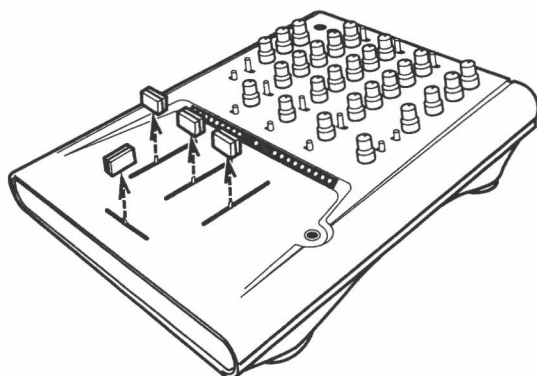
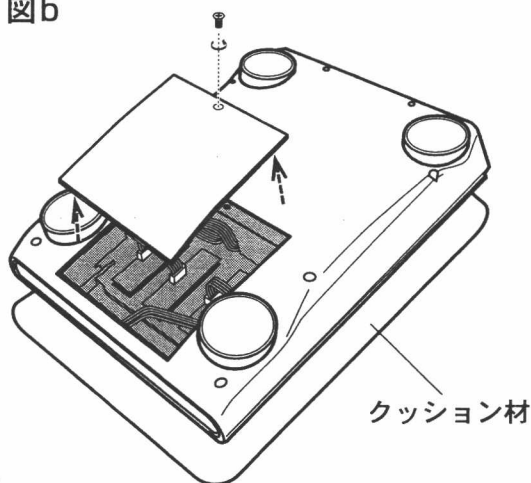
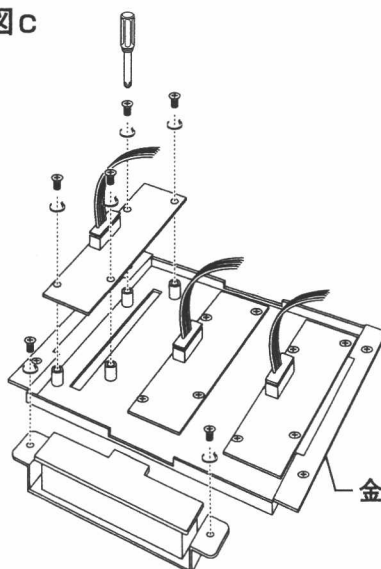
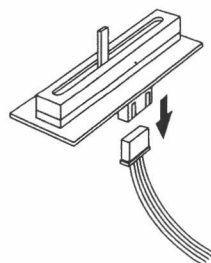
■フェーダーユニット：IF-37PCVへの交換

① 上記 "IF-180への交換" の①～④と同じ要領で交換する箇所のフェーダーユニットを取外して下さい。

② 図eのように3本のフェーダーユニットが取り付いている金属パネルの両端4点のネジを取外して下さい。

③ 図fのように新しいフェーダーユニット "IF-37PCV" にはお買い上げ頂いた状態でツマミとパネルが付いていますので、取り外して下さい。。

④ 図gのように③で外したネジを用いてIF-37PCV（ツマミ・パネルなし状態）を固定して下さい。

⑤ 本体に組み込む際は取外しの①→②と逆の手順で取付けて下さい。

図c　図d

クロスフェーダーの交換

■フェーダーユニット：CF-PCVへの交換

① 図aのようにクロスフェーダーのツマミを取外して下さい。

② インプットフェーダーの交換と同様、本機裏側のカバーを取外します。

③ 図cのようにクロスフェーダーを固定している2点ネジを取外し、フェーダーユニットごと持ち上げて下さい。

④ 図dのように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクターを引張って取外して下さい。
（この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい。）

⑤ 図hのようにクロスフェーダーを固定しているネジ2点を取外します。

⑥ 図fと同じ要領で新しいフェーダーユニット"CF-PCV"のツマミ及びパネルを取外して下さい。

注　意

"CF-PCV"に交換される場合、"CF-PCV"の切替スイッチを"PCV"側に切替えてご使用下さい。

⑦ ⑥で外したネジを用いて図iのネジ穴ⓐ2点にCF-PCV（ツマミ・パネルなし状態）を固定して下さい。

⑧ ①→⑤の逆手順で取付けて下さい。

■フェーダーユニット：CF-Rへの交換

① 上記"CF-PCVへの交換"の①～⑤と同じ要領で交換するクロスフェーダーユニットを取外して下さい。

② 図fと同じ要領で、新しいフェーダーユニット"CF-R"のツマミ及びパネルを取外して下さい。

③ ②で外したネジを用いて、図iのネジ穴ⓑ2点にCF-R（ツマミ・パネルなし状態）を固定して下さい。

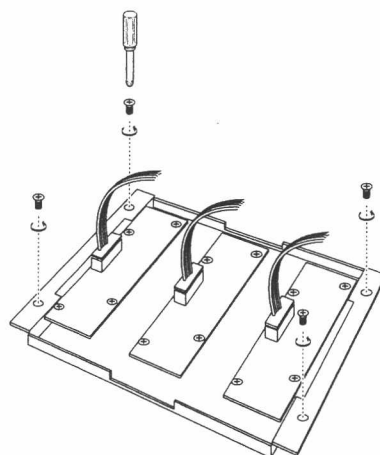
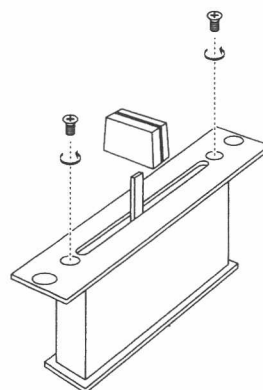
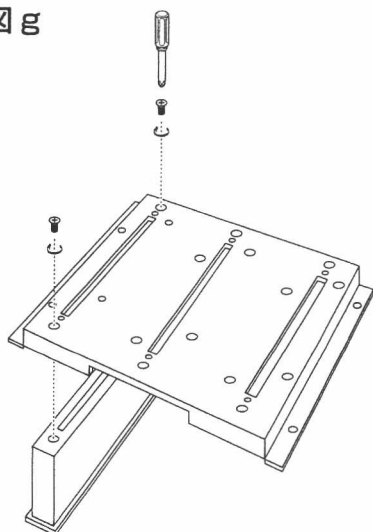
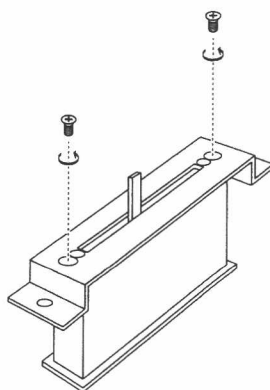
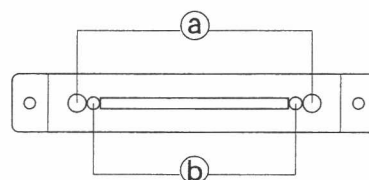
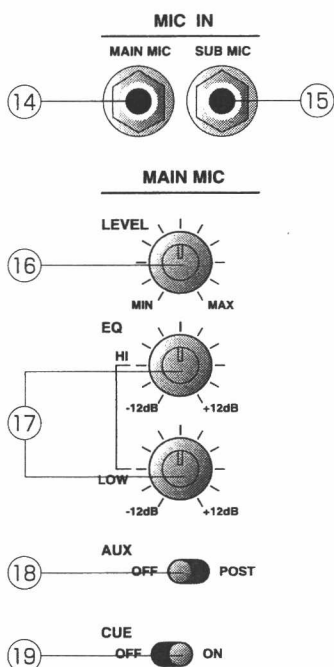
④ 取外しの際と逆の手順で取付けて下さい。

図e

図f

図g

図h

図i

ⓐ：CF-PCV取付ネジ穴
ⓑ：CF-R取付ネジ穴

マイクセクション

⑭ **MAIN MIC IN JACK**
メインマイク入力端子です。

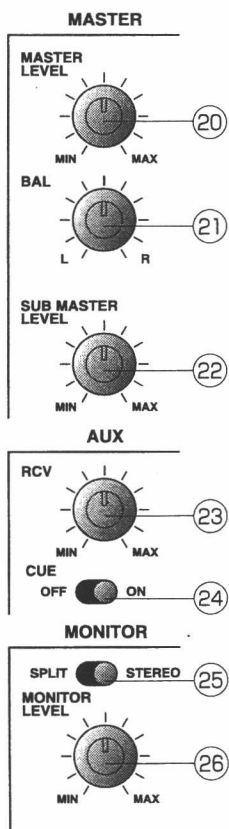
⑮ **SUB MIC IN JACK**
サブマイク入力端子です。音量等の調整は、SUBチャンネルのINPUT SELECTスイッチで"SUB MIC"を選択して調整を行って下さい。

⑯ **MAIN MIC LEVEL**
MAIN MIC入力端子に接続されたマイクのレベルを調節します。

⑰ **MAIN MIC EQ [HI, LOW]**
MAIN MIC IN JACKに接続されたマイクの音質をHI・LOWの2バンドで調整します。息継ぎが目立つような場合にご使用下さい。

⑱ **MAIN MIC AUX ON/OFFスイッチ**
MAIN MIC IN JACKの信号をAUX SEND JACKから出力するかどうかを設定します。スイッチをPOST側にするとマイクの信号が、AUX SEND JACKへ出力されます。

⑲ **MAIN MIC CUE ON/OFFスイッチ**
MAIN MIC IN JACKに入力された信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうか設定します。ヘッドホンでモニターする際には、このスイッチをONにしてください。

マスター・モニターセクション

⑳ **MASTER LEVEL**
リアパネルのMASTER OUT JACKから出力される信号のレベルを調節します。

㉑ **MASTER BALANCE**
MASTER OUT JACKから出力される信号のL-Rバランスを調節します。

㉒ **SUB MASTER LEVEL**
リアパネルのSUB MASTER OUT JACKから出力される信号のレベルを調節します。

㉓ **AUX RECEIVE LEVEL**
AUX RCV JACKに入力された音声信号レベルを調節します。

㉔ **AUX RCV CUE ON/OFFスイッチ**
AUX RCV JACKに入力された信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうかを設定します。ヘッドフォンモニターする際には、このスイッチをONにして下さい。

㉕ **MONITOR STYLE SELECT スイッチ**
ヘッドフォンのモニター方式を切替えるスイッチです。それぞれ次の様な機能があります。

STEREO:ステレオモニター方式 … この場合、各CUE ON/OFFスイッチでONに設定されたセクションの音声がヘッドフォンの左右より出力されます。

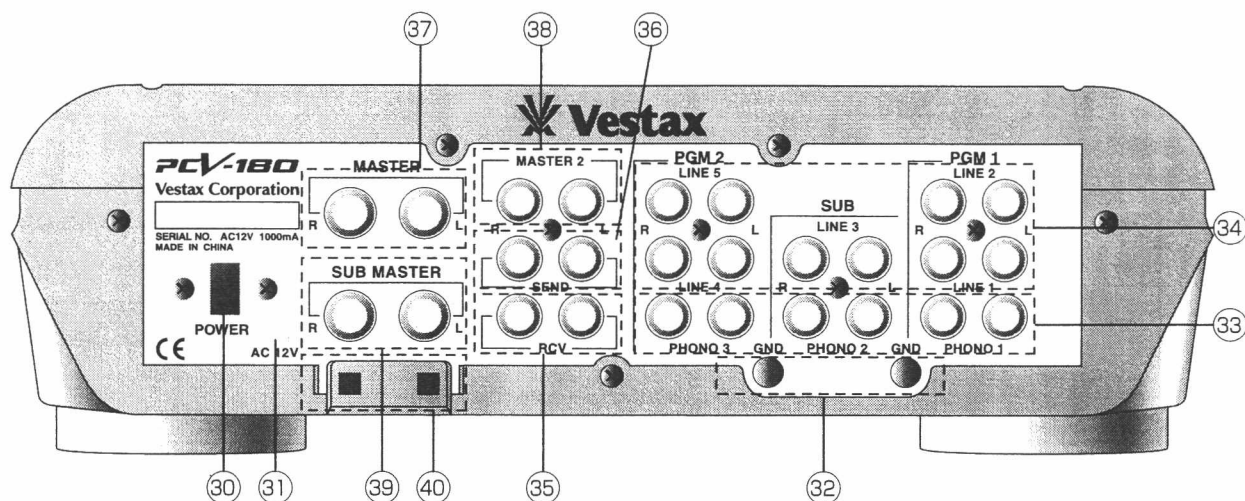
SPLIT：スプリットキュー方式 … この場合、各CUE ON/OFFスイッチでONに設定されたセクションの音声がヘッドフォンの左側から、また右側からはMASTER OUTの音声が出力されます。

㉖ **MONITOR LEVEL**
PHONE JACKに接続されたヘッドフォンの音量を調節します。

㉗ **PHONES JACK**
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

㉘ **LED LEVEL METER**
LEDバーグラフにより、MASTER OUTのL・Rチャンネルから出力される信号レベルを表示します。

㉙ **POWERインジケーター**
電源ON状態で、LEDが点灯します。

リアパネルセクション

㉚ **POWERスイッチ**
電源のON/OFFスイッチです。ONのときにPOWERインジケーターが点灯します。

注　意
このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がＯＮになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合破損する恐れがありますので、ご注意下さい。

㉛ **POWER JACK**
専用のアダプター（AC-12A）を接続して下さい。

注　意
Vestax AC-12A以外のアダプターを使用した場合、本体が破損する恐れがあります。その場合、保証しかねますのでご了承下さい。

㉜ **GND (アース端子)**
ターンテーブルのアース線を接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

㉝ **PHONO INPUT JACK**
PGM1、PGM2、SUBチャンネルのターンテーブル用入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続してください。なおMCタイプのカートリッジをご使用の場合はヘッドアンプが必要になります。

㉞ **LINE INPUT JACK**
PGM1、PGM2、SUBチャンネルのラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、DAT、MD等を接続してください。

㉟ **AUX RCV JACK**
外部エフェクターの出力を接続して下さい。

㊱ **AUX SEND JACK**
外部エフェクターの入力端子に接続してください。AUX ASSIGN スイッチ⑨、AUX SEND LEVEL⑩で選択された音声信号の出力端子です。外部エフェクター、サンプラー等へ接続して下さい。

㊲ **MASTER OUTPUT JACK [UNBALANCED PHONE JACK]**
マスターのアンバランス出力端子です。パワーアンプ、プリメインアンプ等の入力端子へ接続して下さい。

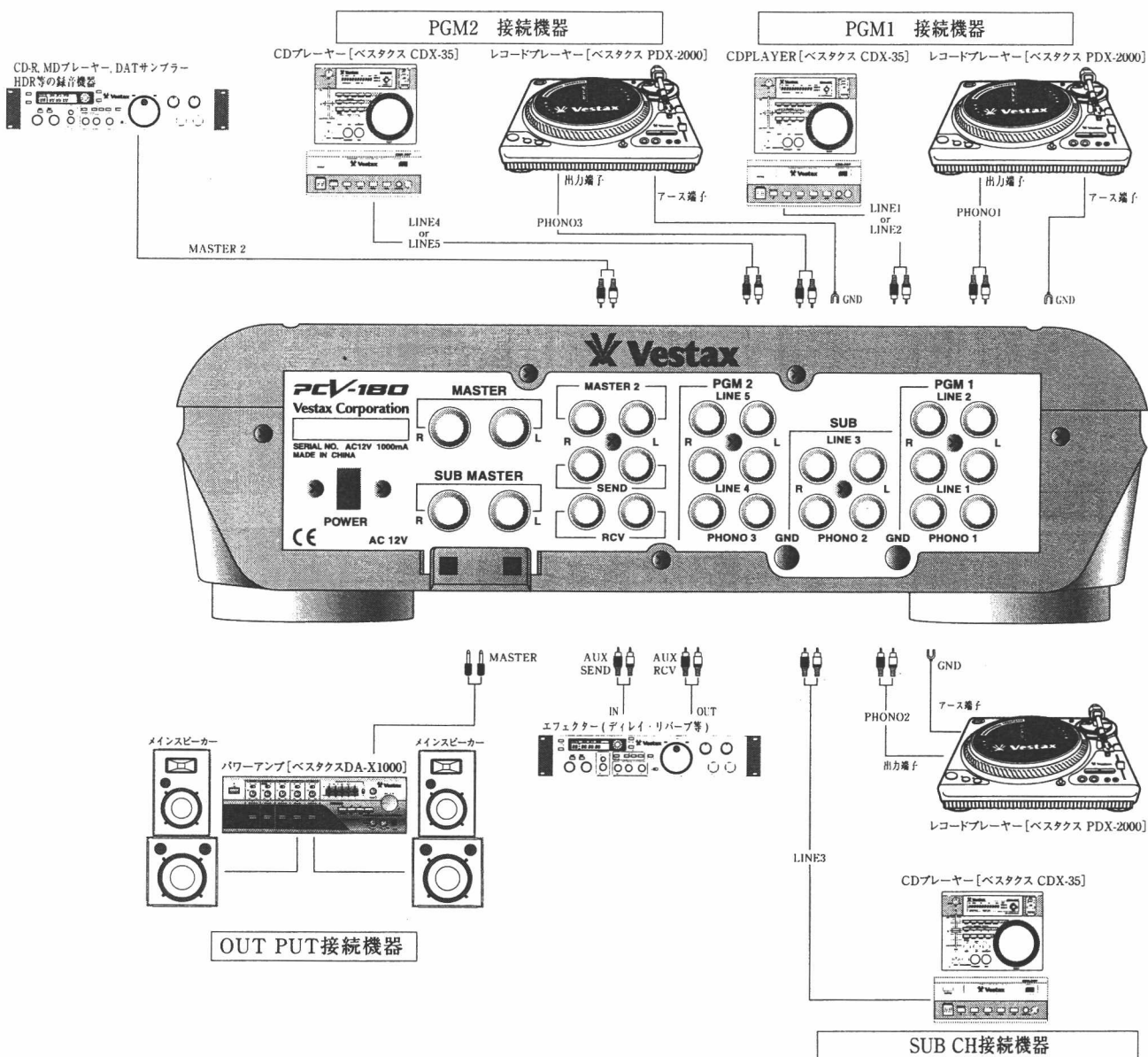
㊳ **MASTER2 OUTPUT JACK [RCA PIN JACK]**
マスターのアンバランス出力端子です。録音用のサブ出力としても使用できます。

注　意
お手持ちのアンプに接続する際は、TAPE、AUX、MD、DATといった入力端子に接続して下さい。"PHONO"入力端子はレコードプレーヤー専用で、専用の回路が内蔵されていますので、音が割れたり、歪んだりします。それだけでなく、アンプ、スピーカーの破損の原因となりますのでご注意ください。

㊴ **SUB MASTER OUTPUT JACK [UNBALANCED PHONE JACK]**
サブマスターのアンバランス出力端子です。ＤＪブース内のモニター用出力端子として、または第２の出力端子としてご使用下さい。

㊵ **アダプターコードホルダー**
アダプターのコードをこの部分に引掛けて下さい。

接 続 例

PGM2　接続機器
PGM1　接続機器
CD-R, MDプレーヤー、DATサンプラー
HDR等の録音機器
CDプレーヤー［ベスタクス CDX-35］
レコードプレーヤー［ベスタクス PDX-2000］
CDPLAYER［ベスタクス CDX-35］
出力端子
アース端子
LINE4
or
LINE5
PHONO3
LINE1
or
LINE2
PHONO1
MASTER 2
GND
MASTER
AUX SEND
AUX RCV
IN
OUT
エフェクター（ディレイ・リバーブ等）
PHONO2
LINE3
メインスピーカー
パワーアンプ［ベスタクスDA-X1000］
CDプレーヤー［ベスタクス CDX-35］
OUT PUT接続機器
SUB CH接続機器

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源アダプターがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っている。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ボリュームや、各音量ヴォリューム調整が MIN になっている。	各音量ボリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレーヤーの出力ケーブルを PCV-180 本体の LINE INPUT に接続している。	PCV-180 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレーヤーのカートリッジに、MC タイプを使用している。	カートリッジを MM タイプに交換する。
音がひずむ。	PCV-180 の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続している。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベルの高い CD、MD プレーヤー等を接続している。	PCV-180 の PGM TRIM ボリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっている。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがある。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離す。
	レコードプレーヤーのアース線がはずれている。	アース線を PCV-180 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗している。	新品のクロスフェーダーに交換する。(別売の交換用クロスフェーダーユニット CF-PCVまたはCF-Rをご購入ください。)

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　－